第６課　王のラブソング

【暗唱聖句】

「わたしを刻みつけてください。あなたの心に、印章として。あなたの腕に、印章として。愛は死のように強く、熱情は陰府のように酷い。火花を散らして燃える炎」雅歌8：6

【日曜日・分けることのできない命】

「主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」創世記2：7

＊私たちの体の中には神様の命の息（霊）が吹きいれられているので、本来体は聖く尊いものであります。また肉体と霊を切り分けることができません。

「神よ、あなたはわたしの神。わたしはあなたを捜し求め、わたしの魂はあなたを渇き求めます。あなたを待って、わたしのからだは乾ききった大地のように衰え、水のない地のように渇き果てています」詩編63編 2節

「主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです。命の神に向かってわたしの身も心も叫びます」詩篇84：3

＊魂だけでなく、身（体）も心も主を呼び求めると詩篇の記者は言っています。

「知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」第一コリント6：19，20

＊体は聖霊が宿る神殿です。私たちの体は私たちのものではなく神様に買い取られたものであり、体をもって神様の栄光を現わすように教えられています。

「どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように」テサロニケの信徒への手紙一5章 23節

＊霊・魂・体のどれ一つとして欠けてはならないものです。

これらの聖句からわかるように、体は悪で霊は善という二元論的な考えは聖書的ではありません。また私たちは霊も心（魂）も体も一つであり、切り分けることができず、すべてをもって神様の目的のために用いられるべきです。さらに雅歌には、夫婦愛の肉体的側面の素晴らしさが語られており、肉体を汚れているとみなすことは間違いであることがわかります。

【月曜日・ラブソングの愛】

雅歌には男女の愛が歌い上げられていますが、純粋な愛は創造主からの賜物です。夫婦が主を中心に愛し合い、支えあいながら、お互いに「洗練され、きよめられ、高められ、高潔にされ」（アドベンチスト・ホームＰ100）ていきます。また雅歌5：16で、妻に対して「これがわが友なのです」（口語訳）と表現されています。伴侶との関係が親しい友のような関係でもあるならば、本当に素晴らしいことです。

　真の愛は生まれつきあるものではなく、聖霊の賜物です。それは自己犠牲的な愛です。

【火曜日・愛にあふれた知識】

雅歌に描かれている男女は、「エデンへの回帰」を連想させます。雅歌の中で、ソロモンは花嫁に「わたしと一緒にいなさい」（4：8）と招き、花嫁はそれに応じます。また逆に花嫁もソロモンを「わが愛する者がその園に入ってくるように」と招き、ソロモンは応じます。パウロはコリントの信徒への手紙一7章 5節で「互いに相手を拒んではいけません。ただ、納得しあったうえで、専ら祈りに時を過ごすためにしばらく別れ、また一緒になるというなら話は別です。あなたがたが自分を抑制する力がないのに乗じて、サタンが誘惑しないともかぎらないからです」と教えています。2人は一体となることで互いをもっと良く知るようになります。このような麗しい関係は、わたしたちとイエス様とが一つになることによってもたらされる、神様を深く知るという神秘につながっていきます。

【水曜日・ふさわしい時に愛しなさい】

結婚するまで純潔を守るということを、「わたしは城壁」（8：9，10）という言葉で表現しています。聖書ではお互いに一人の人と結ばれることが大切であり、そのために純潔を守ることや、結婚後の姦淫の罪を重罪とみなしています。多くの人は、考え方が古いと主張するかもしれません。しかし、悪魔はこの純潔性を破壊し、夫婦関係をも破壊してきます。夫婦の間から神様の栄光をも奪い取りたいのです。なぜ男女の純潔が大切なのかというと、そこには霊的な意味があるからです。それは神様との関係においても同様のことが言えるからです。男女が結ばれて一つとなることは、霊的に神様とわたしたちが一つとなることを象徴しているのです。だから、神様に対して純潔を守り、神様以外のものを愛さないことが大切なのです。これを破るならば、神様に対して姦淫を犯すことになり、その罪の結果は想像以上に大きなことなのです。

【木曜日・創造主からの賜物を守る】

男女の関係を常に神様の御心にかなった正しい関係守っていく限り、それは大きな祝福となります。逆に、それを破ると、様々な不幸がもたらされます。サタンが支配する世の中では、神様の御心とは異なる男女関係に溢れています。それだけに、より一層注意深く、聖なる思いを持って行動する必要があります。

「自らを清く保ち、聖なる者となりなさい。わたしはあなたたちの神、主だからである」レビ記20章 7節

男女の清い関係を守ることは、自ら聖なる者となることでもあります。

「人の妻と姦淫する者、すなわち隣人の妻と姦淫する者は姦淫した男も女も共に必ず死刑に処せられる」レビ20：10

姦淫、同性愛、近親相姦など、一人の夫と妻という関係を破る行為はいかなるものであっても死刑に価するほどの重罪としてみなされました。このことをわたしたちは軽く考えてはならないのです。